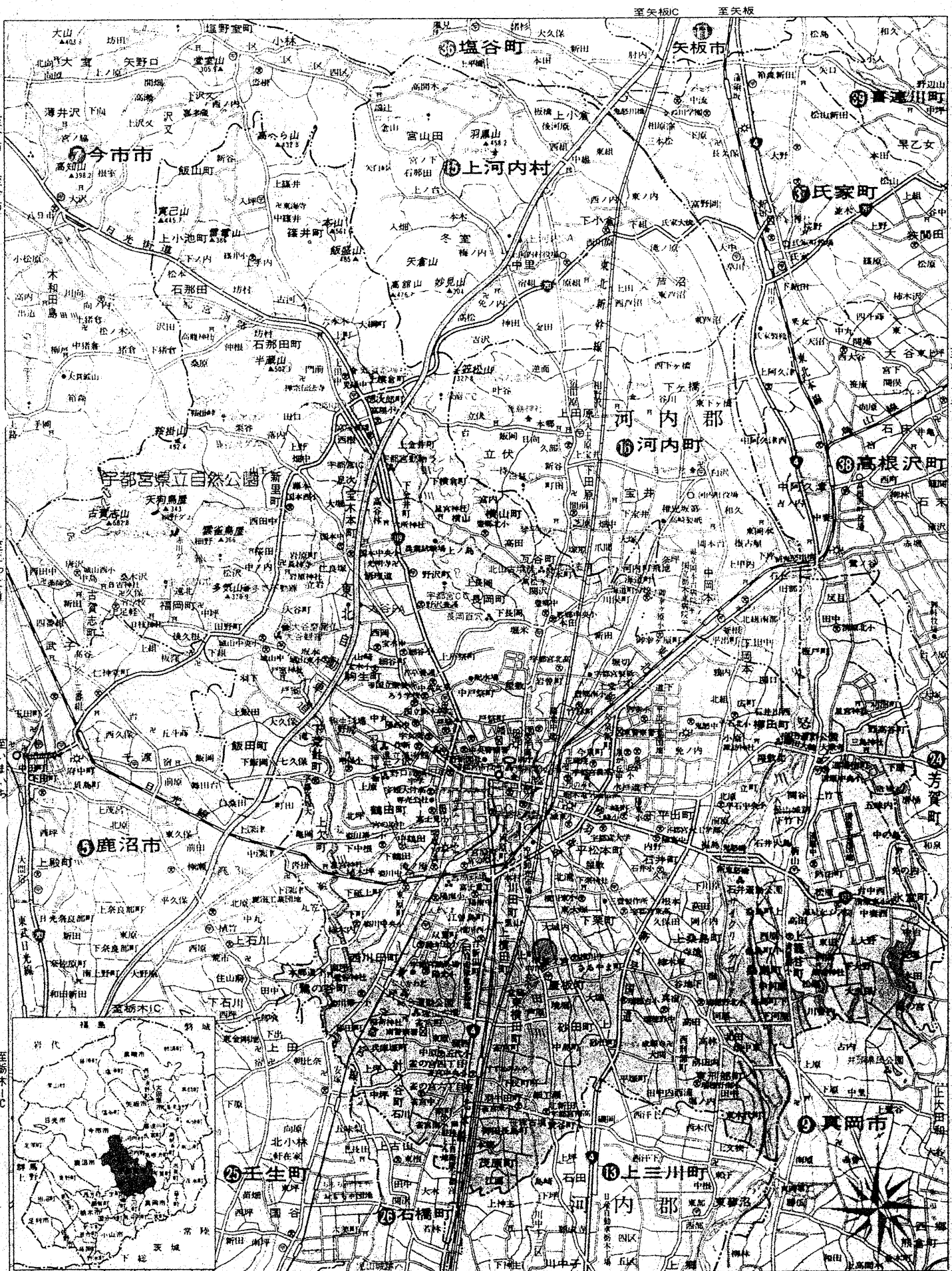


調査位置図

宇都宮市



至今市
至今市-C

至C

至いまし

至栃木-C
600
400
200
100
0

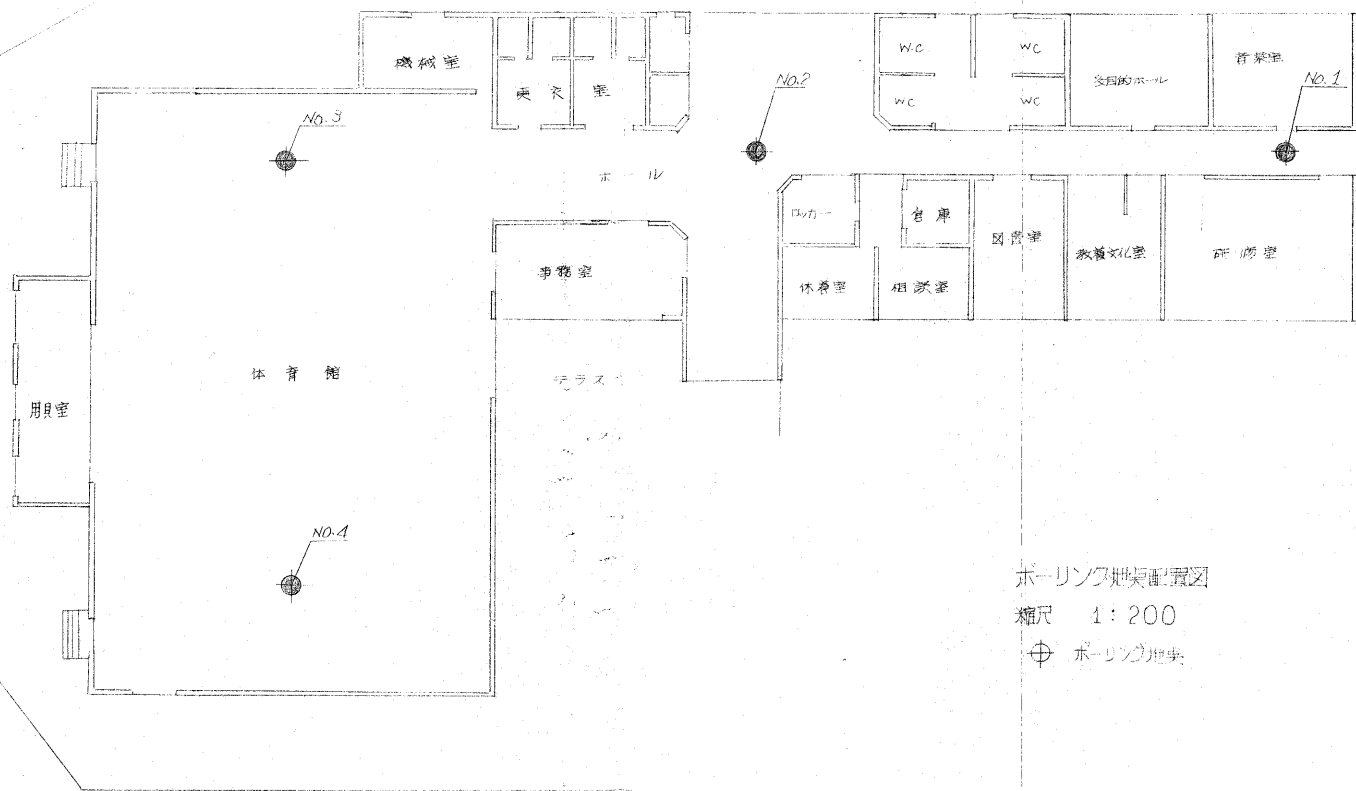
至しんととき
至小山まいしばし
1:130,000

至小川

至からすやま

至益子

至大田



ホールディング棟配置図

縮尺 1:200

⊕ ホールディング棟

土質柱状図

ボーリング番号	NO. 43L	ボーリング工法	ロータリー式	備考
調査名	仮称 宇都宮勤労身体障害者教養文化体育施設新築地質調査委託			
所在地	宇都宮市屋板町251			
調査年月日	昭和58年8月			
標高	-0.23 m	基準	仮B.M = 0.00 m とし	
実施者名	宇都宮土建工業株式会社	責任者		

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	孔内水位 (m)	土質記号	試料採取深度 (m)	土質名	色	記 事	相対コンシステンシー (%)	標準貫入試験										
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数			0	10	20	30	40	50
													10	20	30						
0				1.10	X		盛土	褐	D-ムと腐植土と角礫混入	柔	1.15	8	4	1	3						
1	1.30	1.30	0.40		YYY		腐植土	暗灰	含水比やや高者、刺激臭利、腐植物混入	柔	1.45	30	10	10	10						
2	1.70	0.40			○				含水比非常に高、最大粒径φ50%程度、円角礫平均径φ20%~30%程度、所々帯状に粗砂状、前れやすい。	硬	2.15	50	15	35							
3	3.50	1.80			○				含水比非常に高、最大粒径φ50%程度、円角礫最大径φ100%程度、玉石点在、全体的に崩れやすい。3.50m以下0.50%程度の漏水。	硬	2.35	20	10	10							
4					○				含水比非常に高、礫最大径φ50%程度、円角礫最大径φ100%程度、玉石点在、全体的に崩れやすい。3.50m以下0.50%程度の漏水。	硬	3.15	50	15	24	11						
5	5.00	1.50			○		砂礫	褐	含水比非常に高、礫最大径φ50%程度、円角礫最大径φ100%程度、玉石点在、全体的に崩れやすい。3.50m以下0.50%程度の漏水。	硬	3.39	24	10	10	4						
6	5.40	0.40			○		細砂	黄褐	含水比非常に高、礫最大径φ50%程度、円角礫最大径φ100%程度、玉石点在、全体的に崩れやすい。3.50m以下0.50%程度の漏水。	硬	4.15	50	24	26							
7	7.45	2.05			○		砂礫	褐	含水比非常に高、礫最大径φ50%程度、円角礫最大径φ100%程度、玉石点在、全体的に崩れやすい。3.50m以下0.50%程度の漏水。	硬	4.35	20	10	10							
8					○				含水比高、礫最大径φ50%程度、円角礫最大径φ100%程度、下部に比較的若干角礫あり。	硬	5.15	30	6	8	16						
9					○					硬	5.45	30	10	10	10						
10					○					硬	6.15	50	17	33							
					○					硬	6.30	15	10	5							
					○					硬	7.15	50	20	16	14						
					○					硬	7.45	30	10	10	10						